

令和4年度

# 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般社団法人 日本暗号資産ビジネス協会

## 目次

I	概況 .....	4
II	会員の状況 .....	7
	1. 会員数 .....	7
	2. 会員の異動 .....	7
III	役員 の状況 .....	9
	1. 役員名簿.....	9
	2. 役員 の就退任 .....	10
IV	組織運営等 .....	10
	1. 社員総会の開催.....	10
	2. 理事会の開催 .....	11
	3. 正会員会議の開催 .....	14
V	会員ビジネスサポート及び啓発、外部活動 .....	15
VI	勉強会等の実施 .....	19
	1. 4 月度勉強会（令和 4 年 4 月 28 日） .....	19
	2. 5 月度勉強会（令和 4 年 5 月 30 日） .....	19
	3. 6 月度勉強会（令和 4 年 6 月 30 日） .....	20
	4. 7 月度勉強会（令和 4 年 7 月 28 日） .....	20
	5. 8 月度勉強会（令和 4 年 8 月 31 日） .....	20
	6. 9 月度勉強会（令和 4 年 9 月 26 日） .....	20
	7. 10 月度勉強会（令和 4 年 10 月 31 日） .....	21
	8. 11 月度勉強会（令和 4 年 11 月 29 日） .....	21
	9. 12 月度勉強会（令和 4 年 12 月 14 日） .....	21
	10. 1 月度勉強会（令和 5 年 1 月 17 日） .....	22
	11. 2 月度勉強会（令和 5 年 3 月 2 日） .....	22
	12. 3 月度勉強会（令和 5 年 3 月 29 日） .....	22
VII	分科会等の実施 .....	23
	1. セキュリティ・システム部会 .....	23
	2. ICO・IEO 部会.....	23
	3. 税制検討部会 .....	23
	4. 金融部会.....	24
	5. ステーブルコイン部会 .....	24
	6. NFT 部会.....	25
	7. ユースケース部会 .....	25
	12. DeFi 部会.....	25
	13. Web3.0 推進検討タスクフォース .....	25

14. 「暗号資産発行体の会計処理検討にあたり考慮すべき事項」制作ワーキンググループ .....	26
15. web3 事業ルール検討タスクフォース .....	26

## I 概況

当年度の暗号資産を取り巻く環境は、世界的にインフレが加速、その対処としての金融引き締めが急ピッチで行われた結果、投資家のリスクオフにより株式や暗号資産の価格下落に伴い、ここ数年過大なリスクテイクをしていた事業者の連鎖的な破綻が発生、年末にはグローバルでも有数の取引所である FTX global が破綻など、大きな混乱が生じました。

他方、我が国においては、2018 年以降進めてきた規制のフレームワークが実効性を発揮し、外的環境による悪影響は限定的となり、結果として暗号資産関連産業の安全性を証明することができた形となりました。

ここ数年間、その規制・統制レベルの厳しさから、世界に遅れをとってしまっていた我が国は、これら世界的な混乱を受けて、現在、特に北米を中心としたグローバルレベルでの規制強化議論が進んでいる中、その動向とは一線を画し、当年度は、骨太方針 2022 での明記、自由民主党 web3PT の積極的活動、経済産業省 web3 政策推進室の設置、相次ぐ大手企業の web3 事業参入、ゲームはもとより地方創生やスポーツ分野等での NFT の活用等、web3 の名の下に、国家レベルでの産業推進の機運が高まってきており、再度我が国の存在をアピールし再び世界をリードできるチャンスが到来している状況です。

このように国家レベルでの産業推進の機運が高まるなか、当協会は、それらをチャンスと認識し、平成 30 年度から取り組む部会活動を通じた暗号資産ビジネスの健全な発展を目指した論点整理、提言の取りまとめを下地として、政官民に働きかけ、税制やステーブルコインにおいて大きな成果を得ることが出来ました。

### (分科会等)

税制検討部会では、7 月、例年の暗号資産取引に係る所得の分離課税に加え、暗号資産を保有する法人の期末時価評価課税、資産税を骨子とする 23 年度税制改正要望書を取りまとめ、政官への働きかけを実施し、「自社発行暗号資産に対する期末時価評価課税の適用除外」を実現しました。

ステーブルコイン部会では、令和 2 年より取り組んできた「ステーブルコイン法制化」に際し、令和 4 年 1 月にとりまとめた本邦における制度設計のあり方に関する提言を基に、政官民との積極的な折衝を継続し、日本国内でのパーミッションレス型ステーブルコインの取扱いが実現しました。

ユースケース部会では、Web3.0 の社会への有用な活用が見込まれる DAO (Decentralized Autonomous Organization) について、地方創生 DAO 事例や課題把握のためのヒアリングを実施し、地方創生 DAO 構築のためのガイドラインの作成に着手するなど、業界の更なる発展をめざした取り組みを行いました。

NFT 部会では、3月にガイドライン改訂で整理した NFT ゲームのサービス設計における賭博該当性について、10月、関係4団体と連携して「NFT のランダム型販売に関するガイドライン」を策定し、公表しました。

ICO・IEO 部会では、6月、企業会計基準委員会「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当する ICO トークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」に関するパブリックコメントに対して意見を提出し、対話を実施するなど、会計課題に取り組みました。

セキュリティ・システム部会では、隔月で部会を開催し、座学にて暗号資産の安全管理及びセキュリティ・システム関連のナレッジの共有に努め、さらに業界共通の課題の整理を行った上で、不正送金・不正出庫に関する提言に取り組みました。

DeFi 部会では、DeFi (=Decentralized Finance、分散型金融)の実態を踏まえながら、利用者保護とイノベーションの発展の適切なバランスを図った制度設計について検討し、政官との対話を続けています。

また、当年度は新たな取り組みとして、分科会とは別に、タスクフォースが立ち上がりました。

Web3.0 推進検討タスクフォースでは、Web3.0に関する経済活動とその推進が活発化する昨今の情勢を鑑み、事業者団体としてその有用性や経済的インパクトを示すことで当局や政治分野の議論の後押しとなることを目的に、当協会の考えをとりまとめました。

「暗号資産発行体の会計処理検討にあたり考慮すべき事項」制作ワーキンググループでは、公認会計士協会と共同で、IEOの会計処理の前提となる取引実態の整理を行うことで暗号資産およびWeb3.0に関連する事業者の監査受嘱環境を整備することを目的に、2023年1月より3回にわたる勉強会を開催しました。これを踏まえた成果物の公表に向けて取り組んでいます。

web3 事業ルール検討タスクフォースでは、web3 領域において、多様なトークン取引の形態等、様々なビジネスが生まれている中で、産業発展の阻害要因となりうる暗号資産交換業のライセンス内容の見直しも見据えて検討を開始しました。まずはweb3 領域におけるビジネスを網羅的に整理した上で、あるべき規制の枠組みについて提言する事で、グレーゾーンを解消し、多様な事業者の参入を促進することで、web3 領域の健全な競争と成長を目指すべく取り組んでいます。

このほか、設立当初から実施している勉強会は毎月開催し、法規制、税務会計、技術、ビジネス面など国内外の知見共有や、動向の把握を行って参りました。

#### (外部活動)

暗号資産ビジネスを取り巻く公的規制や税制、会計制度などの枠組みの最適化を実現するため、政官民の情報交流を促進する活動に取り組みました。特に今年度は、税制やステーブルコイン、DeFi、NFT など多岐にわたる様々なテーマで、自由民主党 web3PT (旧 NFT 政策検討 PT) や、関係省庁との対話を実施しました。

暗号資産ビジネスに対する理解を促進し、暗号資産技術を実装した社会の将来性および実装方法、暗号資産の社会実装を図るために必要となる暗号資産の所有意義を啓発する社会活動にも取り組み、合計 9 回、東京都との勉強会の他、各種イベントの共催、後援を行い、情報メディアの取材対応や協会 HP、SNS での発信力を高め、広報に努めました。メディアにおける記事は、合計 36 本、掲載されました。

暗号資産取引の健全化に貢献するため、詐欺等の不正取引に関する司法機関への情報提供、消費者関連の行政機関や消費者団体からの問い合わせへの対応や情報交換を行うなど、利用者保護に向けて取り組んで参りました。

#### (会員間ネットワーキング)

会員相互の情報交換の促進やネットワーキングの為、年末にはコロナ禍で自粛していた懇親会を約 3 年ぶりに開催し、100 名以上が参加する盛大な会となりました。

このほか、毎週メルマガを配信して会員の活動状況を共有し、また会員相互の情報交換の斡旋を図るなど、会員間のネットワーキングの構築に取り組みました。

#### (運営体制)

協会の運営体制については、定時・臨時社員総会のほか、理事会を毎月開催、及び正会員会議を四半期に 1 回開催し、協会活動や運営に関する会員間の意見集約及び活動の推進強化に努めてまいりました。

協会事務の運営は、当年度は業務委託で 2 月に事務局員を 1 名増員し、専務理事 1 名、事務局員 4 名、合計 5 名の人員をもって行っております。

このような活動の結果、令和 5 年 3 月 31 日現在の会員数は 137 社 (正会員 30 社、準会員 95 社、特別会員 4 社、団体会員 8 社) となり、過去最多となりました。

※詳細な活動内容につきましては、「V 会員ビジネスサポート活動及び啓発活動」、「VI 勉強会等の実施」並びに「VII 分科会等の実施」をご参照ください。

## II 会員の状況

### 1. 会員数

令和5年3月31日現在の会員の状況は、正会員30社、準会員95社、特別会員4社、団体会員8社、合計で137社となります。

### 2. 会員の異動

#### (1) 入会

当期中に以下の通り33社の入会がありました。

(内訳)

正会員4社

	社名	入会月
1	三井物産デジタルコモディティーズ株式会社	令和4年4月
2	株式会社ナナメウエ	令和4年4月
3	株式会社サクラエクスチェンジビットコイン	令和4年6月
4	非公開	令和4年10月

準会員26社

	社名	入会日
1	ポールトゥウィン株式会社	令和4年4月
2	はつな知財事務所(社名変更+退会)	令和4年4月
3	THECOO 株式会社	令和4年4月
4	Cycaltrust 株式会社(社名変更)	令和4年4月
5	株式会社ギオンアンドパシフィックホールディングス	令和4年5月
6	ES ネクスト有限責任監査法人	令和4年5月
7	長島・大野・常松法律事務所	令和4年5月
8	ネクスパート法律事務所法律事務所	令和4年5月
9	ピーディーシー株式会社	令和4年6月
10	PassPay 株式会社	令和4年6月
11	ABCOMO ECOMMERCE PED. LTD.	令和4年7月
12	SB ペイメントサービス株式会社	令和4年7月
13	株式会社Next Finance Tech	令和4年8月
14	Digital Entertainment Asset Pte.Ltd	令和4年8月
15	株式会社シグマクシス	令和4年8月
16	HSU Holdings and Investment Ltd.	令和4年9月

17	松田綜合法律事務所	令和4年9月
18	LexisNexis Risk Solutions FL Inc	令和4年9月
19	UHY 東京監査法人	令和4年10月
20	株式会社 Liquid	令和4年10月
21	株式会社ブロックチェーン戦略政策研究所	令和4年10月
22	渥美坂井法律事務所弁護士法人	令和4年10月
23	税理士法人矢崎会計事務所	令和4年12月
24	博歐科技有限公司 (CYBAVO Inc.)	令和5年1月
25	レヴィアス株式会社	令和5年2月
26	株式会社 Mt. SQUARE	令和5年3月

団体会員 3 社

	社 名	入会月
1	一般社団法人 日本スケートボーディング連盟	令和4年4月
2	東京都渋谷区	令和4年6月
3	長崎県対馬市	令和5年2月

(2) 退会

当期中に以下の通り 8 社の退会がありました。

(内訳)

正会員 2 社

	社 名	退会月
1	CoinBest 株式会社	令和4年11月
2	Payward Asia 株式会社	令和4年12月

準会員 6 社

	社 名	退会月
1	ビリングシステム株式会社	令和4年4月
2	株式会社博報堂	令和4年4月
3	JAMP フィナンシャル・ソリューションズ株式会社	令和4年4月
4	株式会社 Aerial Partners	令和4年4月

5	Librus 株式会社	令和4年4月
6	有限会社イグレック	令和4年4月

(3) 会員種別変更

当期中に会員種別の変更ありませんでした。

(4) 会員名称変更

当期中に以下の通り会員名称を変更した会員が9社ありました。

(内訳)

	変更後社名	変更前社名
1	Authense 弁理士法人	はつな弁理士法人
2	Coin Master 株式会社	エクシア・デジタル・アセット株式会社
3	株式会社 CAICA DIGITAL	株式会社 CAICA
4	LINE Xenesis 株式会社	LVC 株式会社
5	WSAAS Japan 株式会社	WikiFX Japan 株式会社
6	株式会社 pafin	株式会社クリプタクト
7	Himalaya Japan 株式会社	Bitgate 株式会社
8	ゼロス有限責任監査法人	ゼロス監査法人
9	cycaltrust 株式会社	cryptomall japan 株式会社

(5) 会員名簿

令和5年3月31日現在の会員名簿は別紙の通りとなります。

### III 役員の状況

1. 役員名簿

令和5年3月31日現在

役職	氏名	所属・役職
代表理事(会長)	廣末 紀之	ビットバンク株式会社
専務理事(常勤)	幸 政司	一般社団法人日本暗号資産ビジネス協会
理事	小田 玄紀	株式会社ビットポイントジャパン
理事	蓮尾 聡	コインチェック株式会社
理事	時田 一広	株式会社ディーカレット

理事	吉田 世博	株式会社 HashPort
監事	濱本 明	日本大学

## 2. 役員の就退任

### (1) 退任

当期中に役員の退任はありませんでした。

### (2) 就任

令和4年6月15日付

会長 廣末 紀之

専務理事 幸 政司

理事 小田 玄紀

理事 蓮尾 聡

理事 時田 一広

理事 千野 剛司

理事 吉田 世博

監事 濱本 明

令和4年8月26日付け

理事 吉田 友斉

### (3) 辞任

令和4年7月17日付

理事 千野 剛司

令和4年12月28日付

理事 吉田 友斉

## IV 組織運営等

当年度におきましては、社員総会（定時、臨時）、理事会（毎月）、及び当協会（一般社団法人としての）社員にあたる正会員全員が参加する正会員会議（四半期）を開催し、理事による活動状況の報告、会務の運営方針、暗号資産関連ビジネスの推進及び啓蒙に向けて検討を行ってまいりました。

### 1. 社員総会の開催

- (1) 令和4年度第6期定時社員総会（令和4年6月15日）

- ① 報告 第1号 令和3年度事業報告の件
- ② 議案 第1号 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の件
- ③ 同 第2号 役員選任の件

(2) 令和4年度臨時社員総会（令和4年8月26日）

- ① 議案 第1号 役員選任の件

2. 理事会の開催

(1) 令和4年度第1回定時理事会（令和4年4月22日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 暗号資産税制改正に向けたロビー活動について
- ② 役員選挙の方法について
- ③ 会員アンケート結果と来期事業テーマへの反映
- ④ 自民党ホワイトペーパーの賭博性の論点に関する団体間協議について
- ⑤ OECD暗号資産に関する自動的情報交換の枠組みについて

(2) 令和4年度第2回定時理事会（令和4年5月27日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 事業報告書の件
- ② 計算書類及び監査報告書の件
- ③ 令和4年度役員選任について
- ④ 第6期定時社員総会の開催について
- ⑤ 税制改正要望について
- ⑥ 企業会計基準委員会「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当するICOトークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」への意見提出について
- ⑦ 暗号資産税制改正に向けたロビー活動について
- ⑧ イベント後援について

(3) 令和4年度臨時理事会（令和4年6月15日）

I. 決議・協議事項

- ① 会長並びに常勤理事の選任について
- ② 理事会、正会員会議の運営について

- ③ 理事会の年間スケジュールについて
- ④ アドバイザリーの選定
- ⑤ 税制に関する業界団体との協議について

(4) 令和4年度第3回定時理事会（令和4年7月22日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 2023年度税制改正要望書
- ② アドバイザー選任の件
- ③ イベント後援について
- ④ 税制に関する業界団体との協議について
- ⑤ 理事辞任及び、理事後任等の進め方について

(5) 令和4年度臨時理事会（令和4年8月5日）

I. 決議・協議事項

- ① 理事1名選任の件
- ② 臨時社員総会開催の件

(6) 令和4年度第4回定時理事会（令和4年8月26日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 協会運営及び要望提言活動について
- ② NFT賭博該当性に関する団体間合同ガイドラインの公表について
- ③ 税制のロードマップについて

(7) 令和4年度第5回定時理事会（令和4年9月16日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 役職員旅費規程案について
- ② NFT賭博該当性に関する団体間合同ガイドラインへの対応について
- ③ ステーブルコインの政府令等への対応について
- ④ Web3.0推進に関する政策提言について
- ⑤ OECD暗号資産に関する自動的情報交換の枠組みについて

(8) 令和4年度第6回定時理事会（令和4年10月28日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 常勤理事の分掌変更等について
- ② 今期活動の中間報告の今後の活動の推進について
- ③ ステーブルコインの政府令等への対応について
- ④ 税制改正要望について
- ⑤ Web3.0 推進に関する考え方の取りまとめについて

(9) 令和4年度第7回定時理事会（令和4年11月25日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 常勤理事の分掌変更等について
- ② 「当会における web3.0 推進に係る考え方」公表に関する審議
- ③ 民間主導による規制改革研究会（仮称）に関する会員への通知について
- ④ パーミッションレス型ステーブルコインに係る共同提言に向けたコンソーシアム参加について
- ⑤ ステーブルコインの政府令等への対応について
- ⑥ 税制改正要望について
- ⑦ 外部イベントへの登壇、後援・協賛・共催

(10) 令和4年度第8回定時理事会（令和4年12月23日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 「当会における web3.0 推進に係る考え方」について
- ② 税制改正要望の活動について
- ③ ステーブルコインの政府令等への対応について
- ④ 暗号資産交換業者に係る事務ガイドライン一部改訂のパブリックコメントへの対応
- ⑤ web3.0 関連企業の監査に関する勉強会の開催への協力について
- ⑥ 来年の協会事業の活動について

(11) 令和4年度第9回定時理事会（令和5年1月27日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 電子決済手段の政府令等パブコメ提出意見に関する審議
- ② 暗号資産交換業者に係る事務ガイドライン一部改訂のパブコメ提出意見に関する審議
- ③ web3.0 関連企業の監査に関する勉強会の開催への協力について
- ④ 協会事業の活動について
- ⑤ 地方創生支援案件の再開について
- ⑥ 業務委託契約について
- ⑦ 外部イベントへの登壇、後援・協賛・共催

(12) 令和4年度第10回定時理事会（令和5年2月24日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 2023年度の事業計画及び収支予算について
- ② 犯罪収益移転防止法に関する施行令の一部を改正する政令案等への対応について
- ③ web3PTへの政策提言について（投資DA0、DeFi、交換業該当性等）
- ④ 大企業がweb3参入する課題への取組について
- ⑤ 懇親会の開催
- ⑥ 入会

(13) 令和4年度第11回定時理事会（令和5年3月24日）

I. 報告事項

- ① 現況報告（会員状況、勉強会、部会活動、外部活動等）

II. 決議・協議事項

- ① 令和5年度事業計画及び収支予算について
- ② 令和5年度の役員選出について
- ③ Web3事業ルール検討タスクフォースの設置について
- ④ 税制改正要望について
- ⑤ 大企業がweb3参入する課題への取組について
- ⑥ 懇親会の開催
- ⑦ 入会

3. 正会員会議の開催

(1) 令和4年度第1回（令和4年4月22日）

- ① 活動報告
  - ・昨年度事業の振り返り（入退会、成果、外部活動、広報活動等）
- ② 令和4年度の協会活動及び業界課題に関する意見交換

- ・令和4年度事業テーマ
- ・役員選出について
- ・自民党 NFT 政策検討PT ホワイトペーパーへの対応について

(2) 令和4年度第2回（令和4年7月22日）

- ① 活動報告（会員状況、分科会、勉強会、外部活動等）
- ② 業界課題に関する意見交換
  - ・税制改正要望について
  - ・企業会計基準委員会「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当する ICO トークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」への意見提出について
  - ・ステーブルコインに関する実務上の課題について

(3) 令和4年度第3回（令和4年10月28日）

- ① 今期事業の中間報告
  - ・海外団体連携
  - ・定期的な調査研究
  - ・政官民との対話
  - ・部会を通じた業界課題に対する提言等
  - ・定期勉強会イベント
  - ・ネットワーキング
- ② 業界の課題に関する意見交換
  - ・税制改正要望
  - ・ステーブルコインの政府令等への意見提言

(4) 令和4年度第4回（令和5年1月27日）

- ① 活動報告（会員状況、分科会、勉強会、外部活動等）
- ② 業界課題に関する意見交換
  - ・資金決済法等改正に係る政令・内閣府令案等のパブコメ対応
  - ・暗号資産交換業に係る事務ガイドライン一部改正案のパブコメ対応
  - ・Web3.0 事業参入に伴う監査受嘱問題の解決に向けた取り組みについて
  - ・税制改正要望

## V 会員ビジネスサポート及び啓発、外部活動

1. 月次において、暗号資産ビジネスに関する勉強会を開催しました。詳細は「VI 勉強会等の実施」項をご覧ください。
2. 令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策のため勉強会・分科会等をオンラインにて開催しました。

3. 令和4年4月 東京都の職員に向けたブロックチェーン技術・暗号資産に関する勉強会にて廣末会長が講演。
4. 令和4年5月 東京都の職員に向けた NFT・Web3 に関する勉強会にて白石 陽介（ステーブルコイン部会長）が講演。
5. 令和4年5月 暗号資産の税務申告と税制改正要望に関するアンケートを実施（税制検討部会）
6. 令和4年5月 甘利明 衆議院議員を表敬訪問。
7. 令和4年6月 平井卓也 衆議院議員を表敬訪問。
8. 令和4年6月 平将明 衆議院議員を表敬訪問。
9. 令和4年6月 企業会計基準委員会「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当する ICO トークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」への意見提出。
10. 令和4年6月 イベント後援「BEYOND 2020 NEXT FORUM Web3.0 日本の未来」主催：BEYOND 2020 NEXT FORUM 実行委員会
11. 令和4年6月 イベント後援「第7回 フィンテック・イノベーションセミナー ～デジタルアセットと DeFi で変わる金融ビジネス」主催：KPMG/あずさ監査法人
12. 令和4年6月 「U29 佐渡観光 NFT プランコンテスト 2022」にユースケース部会が検証協力として参加。
13. 令和4年7月 イベント後援「Japan Blockchain Week」主催：BlockchainPROseed
14. 令和4年7月 アドバイザーの設置
15. 令和4年7月 消費者庁「第45回インターネット消費者取引連絡会」にて長瀬威志氏が発表。（NFT 部会）
16. 令和4年8月 改正資金決済法に関するアンケート結果の公表（ステーブルコイン部会）
17. 令和4年8月 「2023年度税制改正に関する要望書」の公表
18. 令和4年9月 イベント後援「20XX年 未来のための青少年課外授業 Creative Edvation NFT×ゲーム、NFT×アート 新しい価値を創造する 自分たちの未来をつかもう！」主催：公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会
19. 令和4年10月 「NFTのランダム型販売に関するガイドライン」を共同公表 ～関係4団体と連携して策定～
20. 令和4年10月 塩崎彰久 衆議院議員を表敬訪問。
21. 令和4年10月 自民党デジタル社会推進本部 web3PT に出席、斎藤 税制検討部会長が暗号資産税制改正要望について説明
22. 令和4年10月 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」において、2023年度税制改正要望について説明し、意見交換を行う。
23. 令和4年11月 平将明 衆議院議員を表敬訪問

24. 令和4年11月 「パーミッションレス型ステーブルコイン」の健全な導入・普及に向けたワーキンググループの加盟。
25. 令和4年11月 日本暗号資産ビジネス協会とCryptoUKは、デジタル資産や暗号資産、基盤となるブロックチェーン技術に関する国際連携のためにMOUを締結。
26. 令和4年12月 自民党デジタル社会推進本部 web3PTに出席、白石 ステーブルコイン部会長が海外発行ステーブルコインについて説明。
27. 令和4年12月 「デジタルアセット共創コンソーシアム」の設置する「パーミッションレス型ステーブルコインWG」にて、中間整理内容を公表
28. 令和4年12月 「当協会における Web3.0 推進に係る考え方」の公表
29. 令和4年12月 イベント後援「NFTサミット東京」主催：Pivot Tokyo 株式会社
30. 令和4年12月 イベント後援「第8回 フィンテック・イノベーションセミナー～Web3.0で変わる社会とビジネスモデル」主催：KPMG/あずさ監査法人
31. 令和5年2月 平将明 衆議院議員を表敬訪問。
32. 令和5年3月 塩崎彰久 衆議院議員を表敬訪問。
33. 令和5年3月 イベント後援「第24回日本国際金融システムフォーラム2023」主催：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
34. 令和5年3月 香港政府の一部局、インベスト香港の代表団とWeb3事業の規制環境について意見交換を実施。

(メディア取材)

1. 令和4年4月 あたらしい経済「取材」JCBAが「NFTビジネスのガイドライン」を改訂、著作権や賭博該当性などを整理」取材記事掲載。
2. 令和4年4月 中日新聞「デジタル市場の扉、無二の絵を世界に 岐阜の17歳特別支援校生描く」コメント掲載。
3. 令和4年4月 日経Fintech「暗号資産での停滞を糧に捲土重来を期す 政府や業界団体がNFTビジネスを後押し」コメント掲載。
4. 令和4年5月 HEDGE GUIDE「JCBA、2023年の税制改正要望に向けてアンケートを実施へ」記事掲載。
5. 令和4年5月 あたらしい経済「【取材】JCBA、暗号資産の税に関するアンケート調査へ」記事掲載。
6. 令和4年5月 Yahoo!ニュース「【取材】JCBA、暗号資産の税に関するアンケート調査へ」記事掲載。
7. 令和4年5月 coindesk Japan「自民党・ふじすえ議員、暗号資産の分離課税に向けた税制改正に言及：JCBAレポート」寄稿記事掲載。
8. 令和4年5月 Yahoo!ニュース「自民党・ふじすえ議員、暗号資産の分離課税に向けた税制改正に言及：JCBAレポート」寄稿記事掲載。
9. 令和4年5月 日経Fintech「デジタルアセット 拭えぬ旧弊 利用者保護とイノベーション はざまに揺れる法規制の着地点」コメント掲載。

10. 令和4年6月 時事通信社「政府「WEB3.0」推進方針に関する所感」コメント掲載。
11. 令和4年6月 日本経済新聞「ステーブルコイン、投資家保護に軸足 海外勢参入難しく」コメント掲載。
12. 令和4年6月 Bloomberg「ステーブルコイン流通へ改正法、欧米に先駆け厳格規制」コメント掲載。
13. 令和4年6月 税務弘報「暗号資産の期末時価評価課税問題と解釈論の限界 自社発行のガバナンストークン等に対する課税は回避できるか？」記事掲載。
14. 令和4年6月 IFLR「Japan needs more clarity on permissionless and overseas-issued stablecoins」コメント掲載。
15. 令和4年6月 So-gūd「暗号資産の未来は“あの空間”と関係が？「一般社団法人 日本暗号資産ビジネス協会 (JCBA)」理事、小田氏が語る暗号資産の可能性とは？」取材記事掲載。
16. 令和4年6月 あたらしい経済「JCBAがICOトークンに関する会計基準開発を提言」記事掲載。
17. 令和4年7月 Bloomberg「「新しい資本主義」にかなうWeb3、税制ネックで国内人材流出」コメント掲載。
18. 令和4年8月 マイナビニュース「仮想通貨にかかる「税金の制度」について専門家が解説」寄稿記事掲載。
19. 令和4年8月 CoinPost「JCBA、金融庁に暗号資産の「税制改正要望」提出へ例年以上に着目される理由」記事掲載。
20. 令和4年8月 CoinPost「【仮想通貨】日本業界団体・税制改正要望提出へ コインポストニュース解説」解説動画掲載。
21. 令和4年8月 日本経済新聞「仮想通貨業界2団体、20%の申告分離課税など要望」記事掲載。
22. 令和4年8月 COINTELEGRAPH「Japan may see a reduced 20% tax on crypto earnings with new proposal」記事掲載。
23. 令和4年8月 coindesk Japan「暗号資産の業界団体、税制改正求めて金融庁に要望書」記事掲載。
24. 令和4年8月 Yahoo!ニュース「暗号資産の業界団体、税制改正求めて金融庁に要望書」記事掲載。
25. 令和4年8月 あたらしい経済「【取材】暗号資産税制改正求め金融庁に要望書提出、JCBAとJVCEA共同で」記事掲載。
26. 令和4年8月 Yahoo!ニュース「【取材】暗号資産税制改正求め金融庁に要望書提出、JCBAとJVCEA共同で」記事掲載。
27. 令和4年8月 Bloomberg「Crypto Business Leaving Japan Due to High Tax, Entrepreneur Says」記事掲載。

28. 令和4年9月 税務弘報「【座談会】現場目線で語りつくす 暗号資産の税務上の問題と未来」座談会記事掲載。
29. 令和4年11月 日経Fintech「Web3 推進に向け、法人課税が緩和へ」コメント掲載。
30. 令和4年11月 TECH+「シンガポールのクリプトヘイブンは終わりか？進む Web3 に対する規制強化とは」イベントレポート掲載。
31. 令和4年11月 マネー現代「仮想通貨は相続する前に売ったほうがいい？知らないで大損する「相続の落とし穴」」記事掲載。
32. 令和4年12月 CNET Japan「「Web3.0」は金融の世界に何をもたらすか-e スポーツや地方創生への活用も」寄稿記事掲載。
33. 令和4年12月 あたらしい経済「【取材】暗号資産の法人期末課税、特定条件で対象外へ、令和5年度「与党税制改正大綱」公表」コメント掲載。
34. 令和5年1月 The Japan times「Both hurt and saved by regulations, what is next for crypto in Japan?」コメント掲載。
35. 令和5年1月 CNET Japan「ゲーム分野への大手企業参入、環境整備が促進- Web3 業界は苦難の2022年から前進の2023年へ」寄稿記事掲載。
36. 令和5年2月 日本経済新聞「「ミキサー」資金洗浄への悪用で制裁相次ぐ 仮想通貨の匿名化サービス 取り消し求め民事訴訟も」コメント掲載。
37. 令和5年3月 CoinPost「電子決済手段（ステーブルコイン）の発行・仲介はいかにして行うか。政府令案を専門家が解説」イベントレポート掲載。

## VI 勉強会等の実施

下記をオンラインにて開催した。

1. 4月度勉強会（令和4年4月28日）

パネルディスカッション

「エルサルバドル・米国のビットコイン発展の今【現地視察者パネルディスカッション】」

株式会社Nayuta 代表取締役 栗元 憲一氏

株式会社グラコネ 代表取締役 藤本 真衣氏

（モデレーター）ビットバンク株式会社 代表取締役 CEO 廣末 紀之氏

講演

「暗号資産ファンド、フィンテック・スタートアップのトレンド-オフショア活用の観点から」

Harneys 法律事務所 香港オフィス パートナー 范 宇晟氏

2. 5月度勉強会（令和4年5月30日）

講演「USTに見る暗号資産型ステーブルコインの可能性について」

株式会社 HashPort 取締役 CBD0 / 株式会社 HashBank 代表取締役 CEO  
辻 和幸氏

講演「クリプト業界のためのメタバース入門」

創・佐藤法律事務所 代表弁護士、NY 州弁護士 斎藤 創氏  
創・佐藤法律事務所 弁護士 今成 和樹氏

3. 6 月度勉強会（令和 4 年 6 月 30 日）

パネルディスカッション

「DeFi Founder 座談会 2022」

株式会社 HYPERITHM 代表取締役 ロイド・リー氏

Waltz Founder 鄭 裕寅氏

LOCKON Co-Founder 窪田 昌弘氏 :

(モデレーター) Fracton Ventures 株式会社

Co-Founder 鈴木 雄大氏 :

講演「web3 における VC・起業家の在り方について」

木下 慶彦氏 Skyland Ventures CEO & General Partner

中村 公哉氏 Skyland Ventures Principal & Legal Partner

4. 7 月度勉強会（令和 4 年 7 月 28 日）

講演「“松下村塾 3.0” とは！？シンガポールに集まる日本人の Web3 起業家の  
実態について」

DEA Founder&CEO 吉田 直人氏

パネルディスカッション

「DAO を巡る法的問題について」

長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 殿村 桂司氏

5. 8 月度勉強会（令和 4 年 8 月 31 日）

講演「Ethereum の大型アップグレード “The Merge” の概要と最新動向」

ビットバンク株式会社 Platform 部部長 横井 大輝氏

講演「Web3.0 / メタバースの発展と金融ビジネスの変革」

有限責任 あずさ監査法人 金融統轄事業部 ディレクター 保木 健次氏

6. 9 月度勉強会（令和 4 年 9 月 26 日）

講演「DeFi, NFT, GameFi の次に来るトレンドの種は何か」

株式会社 HashHub HashHub Research マネージャー 城戸 大輔氏

## パネルディスカッション

【大臣官房 Web3.0 政策推進室・法律家・実務家 座談会！】日本の Web3.0 を切り拓く展望と課題」

経済産業省大臣官房 Web3.0 政策推進室長（兼）経済産業政策局 産業資金課長 浅野 大介氏

森・濱田松本法律事務所 パートナー 増島 雅和氏

株式会社 HashPort 代表取締役 CEO / 当協会理事 吉田 世博氏

（モデレーター）ビットバンク株式会社 代表取締役 CEO / 当協会会長

### 7. 10 月度勉強会（令和 4 年 10 月 31 日）

講演「グローバル・日本市場における STO のトレンドと展望」

SecuritizeJapan 株式会社, Country Head, Japan 小林 英至氏

SecuritizeJapan 株式会社, Tech Consultant 森田 悟史氏

講演「Web3 ハブとしてのシンガポールの現在地と今後の展望」

弁護士法人 One Asia/One Asia Lawyers

シンガポールオフィス パートナー弁護士 森 和孝氏

### 8. 11 月度勉強会（令和 4 年 11 月 29 日）

講演「イノベーションと両立しうる Crypto 法制の一考察」

株式会社 Crypto Garage 統制本部・Chief Legal and Compliance Officer 平下 美帆氏

講演「暗号資産と会計処理の現在地—ICO トークンの発行の考え方」

有限責任監査法人トーマツ ディレクター/公認会計士 齊藤 洸氏

森・濱田松本法律事務所 パートナー 増島 雅和氏

コインチェック株式会社 常務執行役員 竹ヶ原 圭吾氏

### 9. 12 月度勉強会（令和 4 年 12 月 14 日）

講演「協会活動の総括」

一般社団法人日本暗号資産ビジネス協会 事務局

ジェネラルマネージャー 力丸 博之

## パネルディスカッション

「Cryptoasset・web3 2022Year-End Review by JCBA ～web3、NFT、DeFi、暗号資産税制、ステーブルコインの来年の展望を徹底議論！～」

(株)ビットポイントジャパン 代表取締役/理事 小田 玄紀氏

(株)pafin 代表取締役/税制検討部会長 斎藤 岳氏

(株)HashPort 社外取締役/ステーブルコイン部会長 白石 陽介氏

コインチェック(株) 常務執行役員/NFT 部会長 天羽 健介氏

ビットバンク(株) 取締役執行役員 CTO/DeFi 部会長 野田 直路氏  
有限責任 あずさ監査法人 Web3.0 推進支援部 部長 金融統轄事業部 デ  
ィレクター/ユースケース部会長 保木 健次氏  
(モデレーター) ビットバンク(株) 代表取締役/会長 廣末 紀之氏

10. 1 月度勉強会 (令和 5 年 1 月 17 日)

講演「電子決済手段 (ステーブルコイン) の発行・仲介実務に関する資金決済  
法等改正に係る政令・内閣府令案等の解説」

片岡総合法律事務所 パートナー 佐野 史明氏

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 外国法共同事業パートナー

河合 健氏

パネルディスカッション

「ステーブルコイン発行・仲介の実務についてのケーススタディ」

佐野 史明氏 (前掲)

河合 健氏 (前掲)

ステーブルコイン部会 部会長 / 株式会社 HashPort 社外取締役 / 株式  
会社 ARIGATOBANK 代表取締役 白石 陽介氏

コインチェック株式会社 執行役員 北田 友宏氏

株式会社 bitFlyer トレジャリー部長 浜田 将平氏

11. 2 月度勉強会 (令和 5 年 3 月 2 日)

講演「FATF 勧告対応法案に係る犯収法令の改正 (暗号資産交換業関係) の概  
要と同改正がトラベルルール関連自主規制規則に及ぼす影響」

シティニューワ法律事務所 弁護士 後藤 出氏

講演「高速化とグローバル化を見据えた Polygon の利活用」

Turingum 株式会社 取締役 CTO

株式会社クシム 取締役 CTO

12. 3 月度勉強会 (令和 5 年 3 月 29 日)

講演「Crypto Crime Report 2023: オンチェーンデータからみる経済制裁と資  
金流出事案の動向」

Chainalysis Japan 株式会社

Advisory Solutions Architect 重川 隼飛氏

講演「注目の Web3 イベント解説講座 今年来日予定の Web3 企業・プロジェク  
トを紹介」

株式会社 CoinPost 代表取締役 CEO 各務 貴仁氏

## VII 分科会等の実施

下記のとおり会合を開催、成果物を公表した。

### 1. セキュリティ・システム部会

隔月で部会を開催し、座学にて暗号資産の安全管理及びセキュリティ・システム関連のナレッジの共有に努め、さらに業界共通の課題の整理を行った上で、不正送金・不正出庫に関する提言に取り組んだ。

- (1) 第12回（令和4年4月18日）
- (2) 第13回（令和4年6月20日）
- (3) 第14回（令和4年8月22日）
- (4) 第15回（令和4年10月17日）
- (5) 第16回（令和4年12月19日）
- (6) 第17回（令和5年2月20日）

その他、運営会議 6回

### 2. ICO・IEO部会

Web3.0ビジネスの日本での環境整備に向けて、運営体制を再構成して活動を実施。当年度は自社発行暗号資産の期末時価評価の課題整理、提言へ向けて議論を行った。また、会計基準に関して関連団体と意見交換を実施した。

全体会合開催なし

- (1) 企業会計基準委員会「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当するICOトークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」への意見提出。（令和4年6月9日）

その他、運営会議、他団体協議等 6回

### 3. 税制検討部会

例年の暗号資産取引に係る所得の分離課税に加え、暗号資産を保有する法人の期末時価評価課税、資産税を骨子とする23年度税制改正要望書、及び投資家アンケートによる税制改正における税収への影響も合わせてとりまとめ、政官への働きかけを実施し、「自社発行暗号資産に対する期末時価評価課税の適用除外」を実現した。

- (1) 第13回（令和4年5月10日）
- (2) 暗号資産の税務申告と税制改正要望に関するアンケートを実施（令和4年5月23日）
- (3) 甘利明 衆議院議員を表敬訪問（令和4年5月26日）
- (4) 平将明 衆議院議員を表敬訪問（令和4年6月10日）
- (5) 暗号資産税制に関するTwitterスペース開催（令和4年6～7月）

- (6) 平井卓也 衆議院議員を表敬訪問（令和4年6月14日）
  - (7) 第14回（令和4年7月1日）
  - (8) 「2023年度税制改正に関する要望書」を金融庁へ提出（令和4年7月29日）
  - (9) 記者レク ※一般社団法人日本暗号資産取引業協会と共同開催（令和4年8月3日）
  - (10) 「2023年度税制改正に関する要望書」を公表（令和4年8月3日）
  - (11) 塩崎彰久 衆議院議員を表敬訪問（令和4年10月12日）
  - (12) 自民党デジタル社会推進本部 web3PT に出席し、税制改正要望について説明（令和4年10月21日）
  - (13) 平将明 衆議院議員を表敬訪問（令和4年11月14日）
  - (14) 自民党税制調査会 各議員訪問（令和4年11月）
  - (15) 第15回（令和5年3月15日）
- その他、運営会議、他団体協議、省庁会合等 20 回程度との意見交換。

#### 4. 金融部会

デリバティブ取引におけるレバレッジ規制の見直しに向けた取組みについて検討。  
 全体会合開催なし  
 その他、運営会議 1 回

#### 5. ステ이블コイン部会

令和2年より取り組んできた「ステーブルコイン法制化」に際し、令和4年1月にとりまとめた本邦における制度設計のあり方に関する提言を基に、政官民との積極的な折衝を継続し、日本国内でのパーミッションレス型ステーブルコインの取扱いを実現した。

- (1) 第6回（令和4年6月14日）
  - (2) 改正資金決済法に関するアンケート結果の公表（令和4年8月1日）
  - (3) 平将明 衆議院議員を表敬訪問（令和4年11月14日）
  - (4) 「パーミッションレス型ステーブルコインの導入・普及を目的とした「パーミッションレス型ステーブルコイン WG（主催：三菱UFJ 信託銀行株式会社）に参加（令和4年11月30日）
  - (5) 自民党デジタル社会推進本部 web3PT に出席し、海外発行ステーブルコインについて説明（令和4年12月7日）
  - (6) 「デジタルアセット共創コンソーシアム」の設置する「パーミッションレス型ステーブルコイン WG」にて、中間整理内容を公表（令和4年12月23日）
  - (7) 第7回（令和5年1月24日）
- その他、運営会議、省庁会合等毎週開催

## 6. NFT 部会

令和4年3月にガイドライン改訂で整理したNFTゲームのサービス設計における賭博該当性について、10月、関係4団体と連携して「NFTのランダム型販売に関するガイドライン」を策定し、公表した。

その他、運営会議2回

## 7. ユースケース部会

Web3.0の社会への有用な活用が見込まれるDAO(Decentralized Autonomous Organization)について、地方創生DAO事例や課題把握のためのヒアリングを実施し、地方創生DAO構築のためのガイドラインの作成に着手するなど、業界のさらなる発展をめざして取り組んだ。

(1) 「U29 佐渡観光 NFT プランコンテスト 2022」にユースケース部会が検証協力として参加。(令和4年6月6日)

(2) 第6回(令和4年10月17日)

(3) 保木健次 部会長が山古志 DAO デジタル村民向けに「DAOに係る取り組み」について講演(令和4年12月9日)

(4) 第7回(令和4年12月12日)

(5) 第8回(令和5年2月13日)

その他、運営会議5回

## 12. DeFi 部会

DeFi(=Decentralized Finance、分散型金融)の実態を踏まえながら、利用者保護とイノベーションの発展の適切なバランスを図った制度設計について検討し、政官との対話を実施した。

(1) 第4回(令和4年9月16日)

(2) 平将明 衆議院議員を表敬訪問(令和5年2月1日)

(3) 塩崎彰久 衆議院議員を表敬訪問(令和5年2月17日)

その他、運営会議 毎月開催

マイニング部会、カストディ部会、ステーキング部会は休会中。

## 13. Web3.0 推進検討タスクフォース

座長：保木 健次

Web3.0に関する経済活動とその推進が活発化する昨今の情勢を鑑み、事業者団体としてその有用性や経済的インパクトを示すことで当局や政治分野の議論の後押しとなることを目的に、当協会の考えをとりまとめた。

- (1) 事業者ヒアリング（令和4年10月18日）
  - (2) 事業者ヒアリング（令和4年10月19日）
  - (3) 「当協会における Web3.0 推進に係る考え方」公表（令和4年12月20日）
  - (4) 記者レク（令和4年12月20日）
  - (5) 平将明 衆議院議員を表敬訪問（令和5年2月1日）
  - (6) 塩崎彰久 衆議院議員を表敬訪問（令和5年2月17日）
- その他、運営会議、省庁会合等2回

14. 「暗号資産発行体の会計処理検討にあたり考慮すべき事項」制作ワーキンググループ

座長：竹ヶ原 圭吾

公認会計士協会と共同で、IEOの会計処理の前提となる取引実態の整理を行うことで暗号資産およびWeb3.0に関連する事業者の監査受嘱環境を整備することを目的に2023年1月より3回にわたる勉強会を開催した。また、両協会より成果物の公表を予定している。

- (1) 公認会計士協会 第一回勉強会（令和5年1月16日）
- (2) 公認会計士協会 第二回勉強会（令和5年2月20日）
- (3) 公認会計士協会 第三回勉強会（令和5年3月31日）

その他運営会議、省庁会合等8回

15. web3 事業ルール検討タスクフォース

座長：河合 健

web3 領域において、多様なトークン取引の形態等、様々なビジネスが生まれている中で、産業発展の阻害要因となりうる暗号資産交換業のライセンス内容の見直しも見据えて、3月に検討を開始した。まずはweb3 領域におけるビジネスを網羅的に整理した上で、あるべき規制の枠組みについて提言することで、これによりグレーゾーンを解消し、多様な事業者の参入を促進することで、web3 領域の健全な競争と成長を目指すべく活動を実施する。